

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 北広島町立新庄小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒731-2103  
広島県山県郡北広島町新庄 3497

E-mail shinjo-e@stn.town.kitahiroshima.lg.jp

Website http://www.khiro.jp/shinjo-es/

児童生徒数 男子 31名 女子 29名 合計 60名  
 児童・生徒の年齢 6歳～11歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 伝承芸能について（新庄のはやし田・南条おどり）

新庄郷土芸術保存会の方から各学期3～4回程度指導を受け、新庄地区の郷土芸能の新庄のはやし田・南条おどりの継承活動を行った。さまざまな場面で地域の人へ披露し、地域の方々に喜んでもらえた。

##### ①南条おどり

- ・役割 4年生：唄 5・6年生：さんばい・笛・手打鉦・小太鼓
- ・平成28年度の活動  
学習発表会（10月）

##### ②新庄のはやし田

- ・全学年で取り組んだ。
  - 1年生：唄
  - 2年生：早乙女おどり
  - 3・4年生：大太鼓
  - 5・6年生：拍子・笛・手打鉦  
小太鼓・大太鼓
- ・平成28年度の活動  
運動会（5月） 福祉施設やすらぎ訪問（5月）  
新庄花田植（5月） 新庄夜市（7月）  
学習発表会（10月） おおあさふるさとまつり（11月）  
引き継ぎ式（3月）



##### ③引き継ぎの工夫

3月に引き継ぎを行った。引き継ぎ式までに6年生の中に「引き継ぎ係」を決め、そのメンバーが中心となり在校生に技術指導を行った。

#### (2) エネルギー学習について

##### ミミズコンポスト

今年度も給食の残菜の有効活用であるミミズコンポスト活動を行った。環境委員会の4年生が残菜を毎日計量した後ミミズコンポストに運び、ミミズのえさにしている。ミミズのし尿を定期的にとり、すぐ横にある学校園での肥料として活用した。残菜は減少してきている。

#### (3) 環境学習について

##### 太陽光発電パネル設置

昨年度北広島町が学校校舎および体育館に太陽光発電パネルを設置した際、玄関内に発電量や削減した二酸化炭素を表示するモニターを置いた。今年度はモニターをもとに日々継続観察を行った。

#### (4) 食育について

##### ①花実畑（学級菜園）での野菜栽培（全学年）

学校園を使って、生活科や理科、総合的な学習の時間と関連させて野菜作りを行った。1・2年生はきゅうり・トマト・なす・ミニトマト、3年生は、大豆を育てた。大豆は、地域で盛んに栽培されていたことから、収穫した大豆で豆腐作りをしたり、おからでドーナツを作ったりした。

②授業（2月）（3年生：総合的な学習の時間）

単元名：新庄の野菜～新庄の食べ物博士になろう（大豆の加工品作り）～

目標：自分たちが収穫した大豆を使った加工品を作る活動を通して、これまでお世話になった地域の方への感謝の気持ちを抱くとともに、1年間の自分の成長に気付く。

成果：地域の人と一緒に豆腐作りをする活動を通して、地域の人への感謝の気持ちを持つことができた。

豆腐作りの流れを知り、豆腐への関心がいっそう深まった。



③赤米にかかわる活動

地域の営農集団や（有）CC50の方の協力・指導を得て様々な体験活動を行っている。

㊦赤米作り（5年生：総合的な学習の時間）

もみまき・苗作り（4月）

田植え（5月）

水の管理（7月）

稲刈り（9月）

粃摺り（11月）

以上の作業を地域の方と共に行った。春の田植えでは、今年度は「飾り牛」（5年児童の祖父が育成）が登場し、地域への広がりがあった。また、はやし田の演奏に合わせて実際に田植えを行った。

赤米作りにおける一連の活動を通して、食の生産の苦勞に気づくことができた。



㊧赤米のPRと販売（5年生：総合的な学習の時間）

今年度は赤米作りで終わるだけでなく、宮島にある古刹大聖院を訪れ（12月）、約2時間程度児童が育てた赤米や赤米茶の販売を行った。

事前に地域（有）CC50の方に来校いただき、PRの仕方や販売方法を教えていただいた。当日は、宮島の観光客に対して、地域の特徴や赤米のよさを紹介しながら販売した。外国の方にも簡単な英語で対応した。児童が協力して販売し、完売した。後日、県外からも注文の問い合わせが相次いだ。



㊨わら細工（全学年）

12月中旬、赤米のわらを使い、地域の方の指導のもと



と、しめ縄作りを行った。作品は各自、家に持ち帰り飾り付けた。

①「ありがとうの会」（地域の方との交流会）（全学年）

総合的な学習の時間や生活科などの時間において、お世話になった地域の方を招いて、「ありがとうの会」を2月に実施した。今年度で2回目を迎える。地域の方と育てた赤米や野菜などを活用し、みそ汁・赤米むすび・赤米クッキーなどを調理してふるまった。

会食後は、各学年が今年の学習で学んだことをパワーポイント・クイズなどにして発表した。また、リーフレットやパンフレットにまとめて配布した。

地域の方には、手作りの料理や発表を楽しんでいただくことができた。また、「子どもたちの発表を通して初めて知るようなこともあり、とてもよかった。」との感想があった。5年生の赤米作り及び販売に対しては、今後も継続してほしいとの要望もあった。



④おむすび弁当づくり（全学年）

夏休みの登校日に合わせて、全児童が自分で作ったおむすびを持ってきて、学校で食べた。



⑤給食川柳（全学年）

1月の学校給食週間中に、全校児童が「給食川柳」を作った。年間を通して、定期的に各学年に応じた食育指導を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）